

HARMONY



新庄中学校JRC委員会は結団70周年を迎えました

今年度の取組み

①手話プロジェクト ②ベルマーク収集 ③届けよう、服の力

5月12日 1年生JRC登録式、そして感謝状をいただきました！

山崎さんに一番最初に声をかけたこの女の子(右の頁『善意のバトン』)は、どきどきしながら、勇気を振り絞ったのでしょうか。いつも不自由そうに乗り降りする山崎さんに何かできること、と考えたのでしょうか。「バスが来ましたよ」、この一言で、何かが変わりました。その姿を見ていた後輩たちへ、自然に「やさ」「勇氣」が繋がっていきました。

新庄中学校JRC委員会は、私たちだからできることはないか、山崎さんのように不自由な思いをしていらっしゃる方々に何かできることはないか、SDGsを意識した活動も取り入れようと、動き出そうとしています。

手話プロジェクトは、週に一つ、生徒全員で手話を覚える予定のようです。どうぞ、子どもたちに「どんな手話、覚えた？」と、声をかけてみてください。

お家の方々のお力をお借りしないとできないこと、もしかしたらうまくいかないこともあるかも知れません。でも子どもたちから「やってみたい!」、心から沸き上がった活動です。

チャレンジしようという気持ちがRESPECTにつながります。

70年の歴史の力、生徒たちの活動を、学校全体で応援したいと思っています。



今後の部活動等について

部活動へのご協力、ありがとうございます。

右記、5月11日以降の部活動について、県教育委員会、新庄市教育委員会の通知を受け、お願いするものです。

新庄・最上で発生件数が少ないのは、保護者の皆様、地域の皆様、そして生徒、教職員の慎重な行動の賜です。

今後は、6月の地区総体を無事実施するための準備期間としてとらえ、以下の点に留意するよう顧問に話しをしています。もっと自由に思う存分活動させたい、そんな思いと現状と葛藤しながらの毎日です。どうぞ、ご理解、ご協力をお願いします。

善意のバトン



難病で視力を失った和歌山市職員の山崎浩敬(ひろたか)さん(58)が10年以上にわたり、地元の小学生に助けられながらバス通勤を続けている。

ある女子児童に声をかけられたのが始まりで、その児童の卒業後も後輩から後輩に「善意のバトン」が繋がれてきた。

1月、児童たちと再会した山崎さんは「温かい手で支えてもらうのがうれしかった。不安だった通勤が楽しい時間になった」と笑顔を浮かべ、児童たちも「私たちも毎朝が楽しみになりました」と、にこやかに答えた。

山崎さんは32歳だった1994年、進行性の目の難病「網膜色素変性症」と診断され、40歳を手前にして通勤で使っていたバイクの運転もできなくなった。

2005年に休職して訓練施設で白杖(はくじょう)の使い方などを学び、06年に復職。最初は家族に付き添ってもらっていたが、08年か一人でバス通勤するようになった。視力の低下でバスの乗り口を探すことにも苦労したが、一人で通勤を始めて1年がたった朝、停留所で待っていると「バスが来ましたよ」と少女の声がした。

「乗り口は右です。階段があります」。少女はそう言い、座席に案内してくれた。同じバスで通学する和歌山大付属小学校の児童だった。降りる停留所も同じで、それ以来、名前も知らない女子児童は毎日助けてくれた。児童は3年後に卒業したが、新学期に入ると、別の女子児童が助けてくれた。

山崎さんは14年に失明したが、児童たちのサポートは途切れることなく続いた。「おはよう」「寒いね」。児童との何げない会話が朝の楽しみになった。

山崎さんは昨年、児童たちへの感謝の思いをパソコンの音声入力機能を使って綴り、「小さな助け合い」をテーマにした全国信用組合中央協会主催の作文コンクールに応募した。「教わるのではなく、始めた親切。それを見ていた周りが、何も言わないのにやってくれる」作品は最高賞に選ばれ、山崎さんは賞金で視覚機能を向上させる教材を購入し、小学校に贈ることにした。寄贈のため、1月25日に同小を訪れた山崎さんは、支えてくれた卒業生、在校生の4人と再会した。

- (1) 管内中学校との練習・交流については発生状況に応じて慎重に対応すること(感染の広がり、参加校数、参観者数等制限あり)
- (2) 外との交流については、できるだけ控えること(警戒レベル、発症状況要考慮)
- (3) 今後控えている重要な大会の準備期間ととらえ、県外との往来は控えること
- (4) これまでの感染予防対策、名簿作成、行動記録などは継続して実施すること
- (5) 外部指導者については日頃から指導いただいている方等、限定すること。
- (6) 保護者や生徒本人の心情に十分配慮し、参加について選択できるように。
- (7) この内容については、5月31日までの期間とします。

